

My Chronicle

私の仕事

転換期や、思い出に残る過去の案件を伺いました。

Nネット本部副会長 関東土木支部会長
吉田西豊建設株式会社 代表取締役会長

川野 年一 さん

TOSHIKAZU KAWANO



PROFILE :

高校を卒業後、父親が創業した川野建設に就職。1974年24歳のときに倒産。いくつかのトンネル工事に従事した後、1988年吉田建設に入社、2008年代表取締役社長に就任。2016年6月に西豊工業と合併後、2020年6月代表取締役会長に就任。

Data

第二名神高速道路 栗東トンネル上り線西工事

【所在地】 滋賀県栗東郡栗東町(現・栗東市)荒張～大津市上田上桐町
【概要】 ずい道等の建設工事 高さ10m以上の地山の掘削、軌道装置
【工事期間】 1996年3月22日～1998年5月10日

Mission

私の親父は大分の田舎町で小さな建設会社を営んでいました。私も社員として役場に何度か入札にいき落札した経験があります。

しかし、1973年のオイルショックで国内景気が減速し、我が社もその煽りを受けて支払いができなくなり、倒産。借金返済のため、女房を連れて賃金の高いトンネル工事に従事しました。

トンネルには昔からいろいろな言い伝えがあり、朝飯を食べるとき、ご飯に味噌汁をかけると山が崩れる、女を坑内に入れたら、山の神が怒る(山の神は女性、ヤキモチを焼くそうです)、坑内で口笛を吹いてはいけないなど、みな先輩方から教わったものです。いくつかのトンネル工事に携わり、1988年吉田建設に入社。沖縄の屋嘉トンネル現場の所長を皮切りに、岡山名越山トンネル(西松建設の梅田一成さんが工事主任で活躍され、さまざまな経験をさせていただきました)など、西松建設のトンネル工事に携わることができ、とても嬉しく思ったものです。

特に印象に残っているトンネルは滋賀県第二名神高速道路の栗東トンネル工事です。断面積180㎡、長さ2,768m、このような大断面トンネル現場は初めてで、職員、作業員一丸となってがんばった結果、月205m掘進の新記録を打ち立てました。大プロジェクトとして無事に貫通させることができ、貫通発破のときは感無量でした。

吉田建設は、1941年に西松建設株式会社の特別下請け、吉田班としてトンネル工事を主として多くの土木工事を担当し、1970年には吉田建設株式会社と組織を改め国内外のトンネル工事を数多く手がけてきました。2016年6月には西豊工業と合併し、吉田西豊建設株式会社として新たなスタートを切りました。工事を施工するうえで、私たちは「工事に関係するすべての人々が幸福になる」ことを大切にしてきました。しかし、ひとたび災害が発生すれば、その目的とはまったく逆の結果になってしまいます。災害のない現場づくりのため、私たちは人を大切に思う心、仕事を愛する心を大切にしていきます。トンネル屋として半世紀にわたり、さまざまな土地で多くのトンネル工事に携わってきました。退職したら、女房を連れて担当したトンネル現場を再び訪れてみたいと思っています。

Why I chose this

私は1974年から48年間、半世紀にわたりトンネル工事に従事して、11現場で現場代理人として携わってきました。トンネル総延長14kmが私の実績です。私どもの会社は人を集めてなんぼの世界です。何事も人と人の出会いとつながりです。これからも、人を大切にがんばっていきたくと思っています。地図に残る仕事をさせていただき、本当にありがとうございました。



人を大切に思う心、

仕事を愛する心を大切に